

2016年8月

考古 No. 13

けんぱくものしりシート

こく よう せき 黒 曜 石



ハクちゃん、この石を見て！
真っ黒だね。



ケンくん



ハクちゃん

本当だわ！そして、ピカピカして
るね！この石は何かしら？



これは黒曜石という石なのよ。黒曜石は、火山
から噴き出したマグマ（地下の岩石が融けたもの）
が急速に冷やされてできたガラス質の岩石なの。



解説員



へえ～。ガラス質の岩石ってことは、ガラスと良く似ているってことだよな！
ということは、黒曜石の割れ口はよく切れるんだね！



そうなのよ。二人ともこれを見て！これは、
ナイフ形石器（がたせっき）といって、ナイフのように物を
切ったり、物を突き刺すために使われていた
道具なの。黒曜石は旧石器時代から古墳時代
（今から約3万年～1400年前）にかけて石器の
材料として利用されてきたのよ。昔は、使い
方に合わせて自分たちで石器を作っていた
の。ただ、黒曜石は産地が限られているから、
石器全体としてはその量は多くはないのよ。



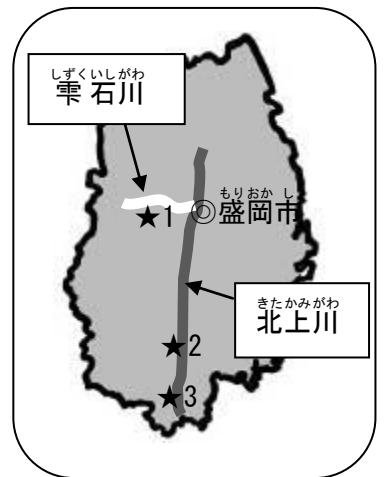
ナイフ形石器



産地が限られてるの？そっか！火山が関係しているのね！



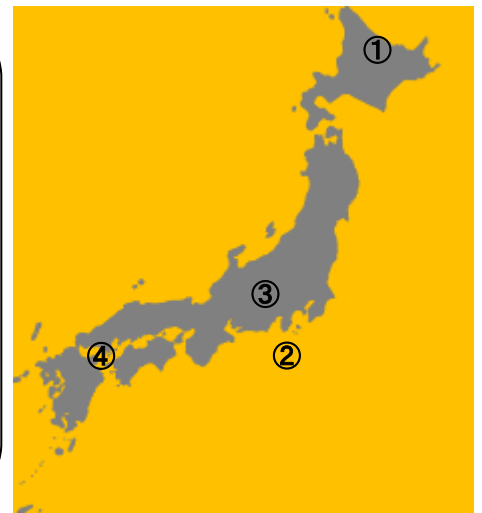
そのとおり！黒曜石は火山によってつくられた石なので、限られた地域でしか入手できないの。岩手県内で知られているのは雫石町（★1）ね。あとは奥州市（★2）と一関市（★3）よ。でも、この二つの市は雫石川の上流でできたものが北上川の流に運ばれて、そこで見つかったと考えられているのよ。石の大きさは、こぶしくらいの大きさみたいよ。



ところで、黒曜石の産地で有名なのはどこかな？



国内では、北海道白滝（①）、伊豆諸島の神津島（②）、長野県霧ヶ峰（③）、大分県姫島（④）などよ。そして、黒曜石は産地によって色や構成する成分がちがうから、石の中の混ざり物を科学的に分析すれば、産地をあきらかにできるの。だから、遺跡から出土した黒曜石からその産地がわかるので、当時の人々の広い範囲の移動や交易ルートを知ることができるのよ。ちなみに岩手県の遺跡からは、北海道・秋田県・宮城県産の黒曜石が出土しているのよ。



へえ～。この黒曜石をとおして、どんな地域の人たちと交流していたかという事もわかるんだね！そして、便利な道具としても使われていたんだね！最初見た時は、ただの真っ黒い石だと思っていたけど、大昔の人たちの様子がわかるすごい石なんだね！！

参考

『考古学がよくわかる事典』 P H P 研究所 2010年/

『文化財を探る科学の眼②石器・土器・装飾品を探る』国土社 1998年 他

来月（9月）の
けんぱくものしりシートは
歴史13だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>